

種類別明細書(増加資産・全資産用)の書き方(記載例)

固定資産税(償却資産)の耐用年数は、
所得税・法人税の減価償却資産の耐用
年数と同じです。

苓北町より送付しました申告書には印字してあ
ります。申告が初めての方は記入不要です。

令和 年度

種類別明細書 (増加資産・全資産用)

所有者 コード		9 0 7 6 5 4 3 2 1										発 送 番 号						
所有者名 苓北 株式会社												枚のうち						
												枚目						
行 番 号	資 産 種 別 の 代 表 的 な 種 別 番 号	資 産 の 名 称 等 (24文字まで登録できます)	数 量	取 得 年 月		取 得 価 額				耐 用 年 数	価 額	課 税 標 準 の 特 例		課 税 標 準 額	増 加 事 由	摘 要	非 課 税	特 例 日
				年 号	年 月	十 億	百 万	千	円			率	コード					
01	1	駐車場アスファルト舗装	1	3	4	5	2	8	2	772	000	1	0		① 2 3 4			
02	2	製氷装置	1	3	4	5	6	3	3	400	000	7			1 2 ③ 4 〇〇市から移管			
03	2	2 3 工作機械	1	3	4	5	5	1	1	500	000	5			1 2 3 ④ 6 → 2 資産の種類訂正			
04	6	テレビA-3型	2	3	4	5	2	7	1	102	000	5			① 2 3 4 申告もれ			
05	6	2 4 6 パソコン	1	3	4	5	2	0	6	3	000	4			1 2 3 ④ 取得価額訂正 250,000→253,000			
06				3	4	5									1 2 3 4			
07				3	4	5									1 2 3 4			
08				3	4	5									1 2 3 4			
09				3	4	5									1 2 3 4			
10				3	4	5									1 2 3 4			
11				3	4	5									1 2 3 4			
12				3	4	5									1 2 3 4			
13				3	4	5									1 2 3 4			
14				3	4	5									1 2 3 4			
15				3	4	5									1 2 3 4			
小 計										1	777	000						

原則記入不要
ただし、全資産申告(初めて
申告される方は除く)または
資産の種類訂正は、印字し
てある「種類別明細書」を確
認のうえ記載してください。

資産の種類訂正の場合
例：前年申告を誤って6
(工具、器具及び備品)で
していたが、実際は2(機
械及び装置)であった。
※同じ内容を減少資産用
に記載が必要。

取得価額の訂正の場合(増
加する場合)
例：前年申告で誤った取得
価額を記載していた。

記入不要
ただし、自社電算処理により全資産申
告を行う場合は記載してください。

摘要欄には、次のような事項が
あれば記載してください。
①前年前(R6.1.1前)に取得し、
当該年度に申告していなかった
資産「申告もれ」と記載。

②非課税該当、特例適用、短縮
耐用年数適用、増加償却などが
あれば記載。

③その他、資産の移動先や訂正
内容などを記載。

取得価額を訂正した場合で取
得価額が増加するときはプ
ラスのみを記載してください。

資	1	構 築 物
産	2	機 械 及 び 装 置
の	3	船 船
種	4	航 空 機
別	5	車 両 及 び 運 搬 具
類	6	工 具 ・ 器 具 及 び 備 品

3. 昭和 4. 平成 5. 令和

苓 北 町

- 1 新品取得
- 2 中古品取得
- 3 移動による受け入れ
- 4 その他